

社 会

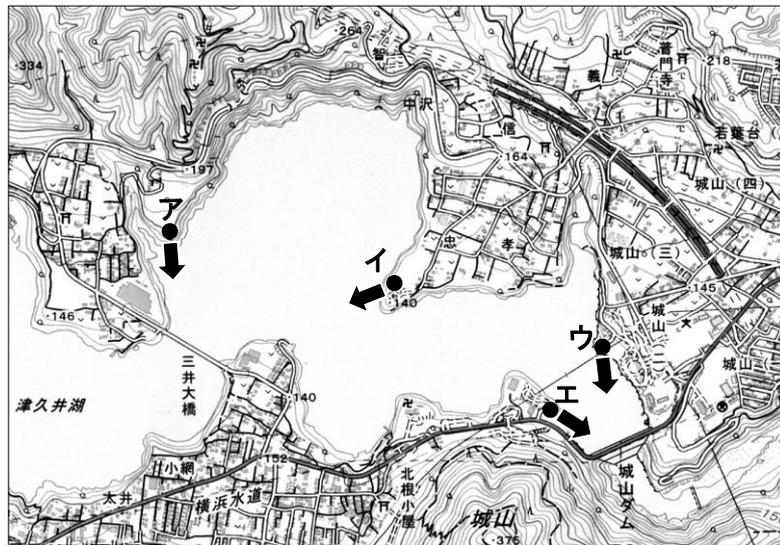
2020 年度 東京純心女子高等学校入学試験

(一般入学試験Ⅰ 特進プログラム&特待生選抜を兼ねる)

解答は解答用紙に記入しなさい。

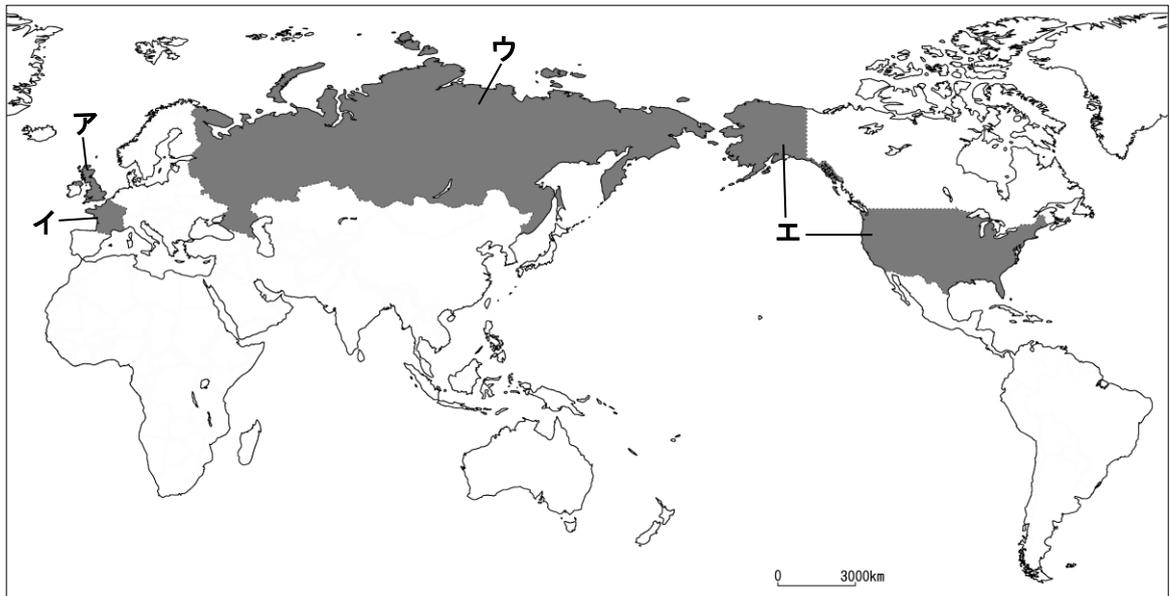
1 次の各問に答えよ。

〔問1〕 次の写真は、下のア～エのいずれかの2015年の「国土地理院発行2万5千分の1地形図（八王子）」に●で示した地点から矢印（➡）の方向を撮影したものである。この写真を撮影した●で示した地点として当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。



[問2] 次の文章を、市民による革命運動が発生した1789年に発表した国は、下の地図中ア～エのうちどこか。記号で答えなさい。

第1条 人は生まれながら、自由と平等な権利を持つ。社会的な区別は、ただ公共の利益に関係のある場合にしか設けられてはならない。
第3条 主権のみなもとは、もともと国民の中にある。どのような団体や個人であっても、国民から出たものでない権力を使うことはできない。
第11条 思想および言論の自由な発表は人間の最も尊い権利の一つである。したがって、すべての市民は自由に話し、書き、印刷し、出版することができる。



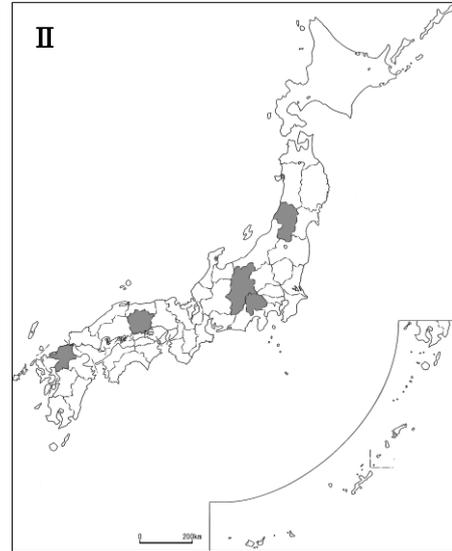
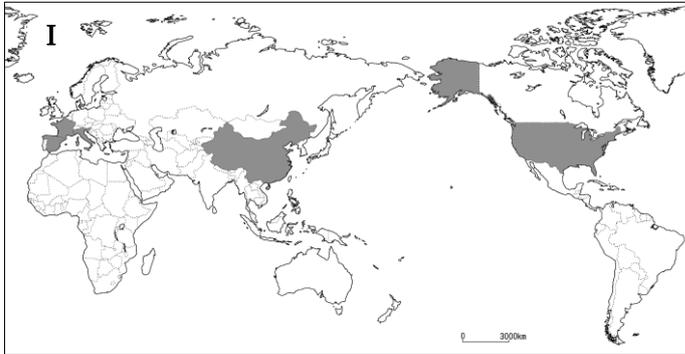
[問3] 次の文章で述べている国際連合の専門機関に当てはまるのは、下のア～エのうちどれか。

国際通貨や為替相場の安定、国際貿易の促進などを目的に1945年に設立された国際金融機関。各国の金融政策や世界経済の状況などの監視や、国際収支が赤字となっている国に短期融資などを行い、経済発展を支援する。加盟189か国（2018年現在）。日本は1952年に加盟。

ア ILO イ IMF ウ WHO エ FAO

2 次の各問に答えよ。

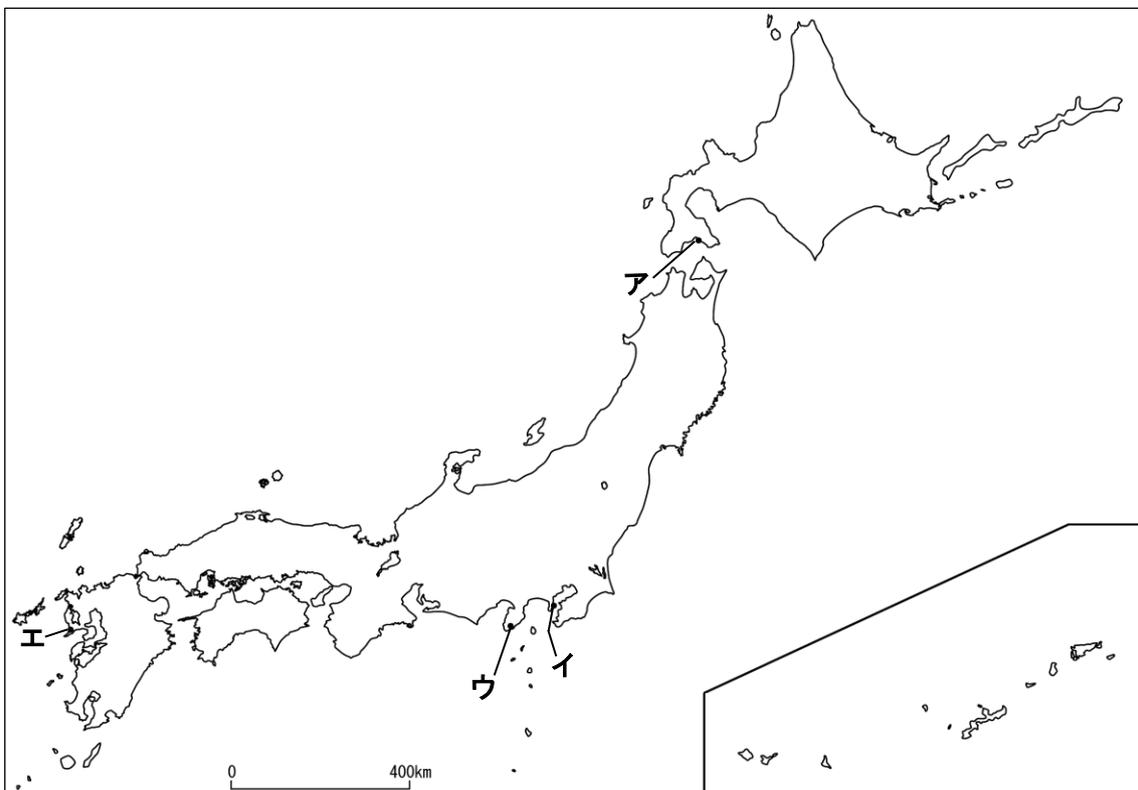
〔問1〕 次のⅠの略地図とⅡの略地図中に ■ で示した国及び府県は、2016年における、ある農作物の生産量上位5位までを示している。この農作物は、下のア～エのうちのどれか。



- ア ぶどう イ りんご
ウ とうもろこし エ じゃがいも

(「データブック オブ・ザ・ワールド」2019年版より作成)

〔問2〕 日米和親条約で開港し、その後領事館が置かれることになった場所を、次の地図中のア～エより選び、記号で答えよ。

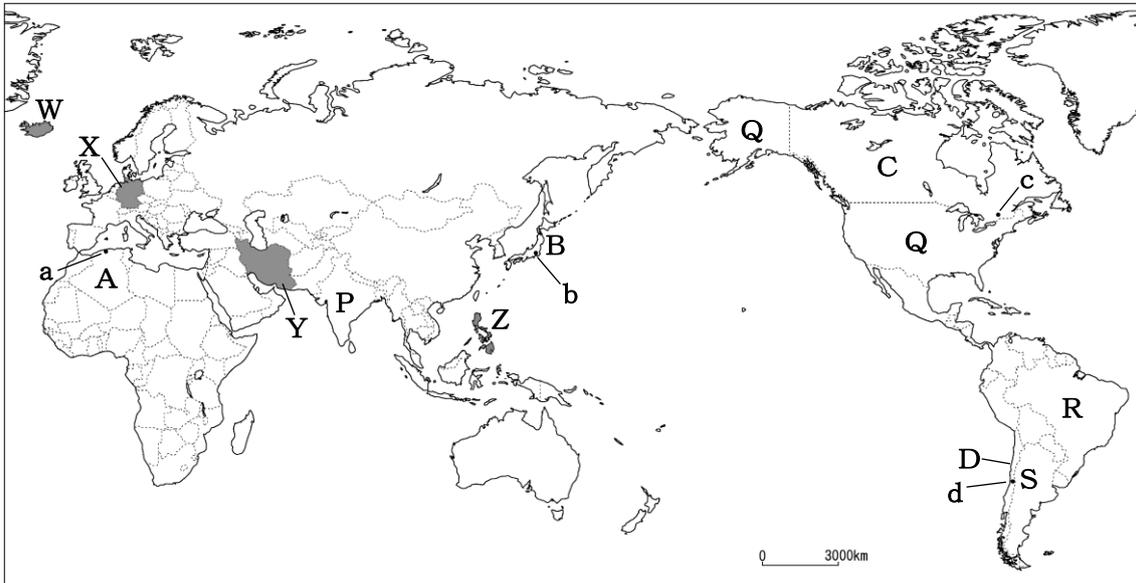


〔問3〕 次の表の**ア**～**エ**は、地図中に  で示した**A**～**D**のギリシャ、フランス、スウェーデン、ドイツのいずれかの国の、夏季オリンピック開催年、歴史・政治・経済などの様子をまとめたものである。地図中の**A**に当てはまるのは、次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。



	開催年	歴史・政治・経済など
ア	1900年 1924年	この国は、冬季オリンピックを合わせると5度開催地となっており、2020年に開催される東京オリンピックの次の開催国にも決定している。2019年8月、G7がこの国で開催され、マクロン大統領が議長を務めた。
イ	1912年 1956年	この国で1912年に開催されたオリンピックに、初めて日本人選手が出場した。消費税率は25%と高いが、社会福祉や少子化対策は充実している。2018年の男女平等ランキング（世界経済フォーラムによる）は世界第3位である。
ウ	1916年(中止) 1936年 1972年	この国で1936年に開催されたオリンピックは、ナチスにより国威発揚のための宣伝材料に使われた。2015年の難民危機では、メルケル首相が難民受け入れを主導したが、国民からの反発も根強く、反移民を掲げる政党が支持を伸ばしている。
エ	1896年 2004年	この国はオリンピックの発祥の地である。また古典文化の中心地としてソクラテスやピタゴラスなど、多くの哲学者、科学者を輩出した。2009年、政府が巨額の財政赤字を隠していたことが発覚し、EUからの支援を受けることとなった。

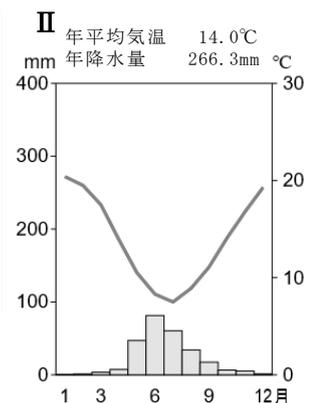
3 次の略地図を見て、あとの各問いに答えよ。



〔問1〕 次のⅠの表の**ア**～**エ**は、アジア州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州の各州のうち、最も平均寿命が高い国の2016年における平均寿命、輸出額、輸出品の上位3位の品目を示したものであり、略地図中**A**～**D**は、そのいずれかの国を示している。略地図中**a**～**d**で示した都市は、**A**～**D**のそれぞれの首都である。Ⅱのグラフは、**a**～**d**のいずれかの都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅱのグラフが示す都市は、略地図中**a**～**d**のうちどれか。また、Ⅱのグラフが示す都市が首都である国に当てはまるのは、Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか。

I	平均寿命 (歳)	輸出額 (百万ドル)	輸出品の上位3位の輸出品 (左から1位, 2位, 3位)
ア	84.0	698,169	機械類, 自動車, 精密機械
イ	82.3	423,707	自動車, 原油, 機械類
ウ	79.5	69,230	銅, 銅鉱, 野菜と果実
エ	76.1	35,081	原油, 天然ガス, 石油製品

(「データブック オブ・ザ・ワールド」2019年版より作成)



(「理科年表」より作成)

〔問2〕 次の表の**ア～エ**は、略地図中の**P～S**の**いずれか**の国の、2016年における国土面積、大豆生産量、大豆輸出量、牛肉生産量、1人あたり国民総所得を示したものである。略地図中の**R**に当てはまるものは、表の**ア～エ**のうちのどれか。

	国土面積 (千 km ²)	大豆 生産量 (万トン)	大豆 輸出量 (万トン)	牛肉 生産量 (万トン)	一人あたり 国民総所得 (ドル)
ア	9,834	11,721	5,777	1,147	56,810
イ	8,516	9,630	5,158	928	8,840
ウ	3,287	1,401	—	91	1,670
エ	2,780	5,880	895	264	11,970

(注) —は、輸出量が不明であることを示す。

(「FAOSTAT」などより作成)

〔問3〕 次の表の**ア～エ**は、略地図中の**W～Z**の**いずれか**の国の、2016年における総発電量と火力、水力、原子力、再生可能エネルギーによる発電量と総発電量に占めるそれぞれの割合、1人あたり消費量を示したものである。略地図中の**W～Z**のそれぞれに当てはまるのは、次の表の**ア～エ**のうちではどれか。

	総発電量 (億kWh)	火力		水力		原子力		再生可能エネルギー(億kWh)					1人あたり 消費量 (kWh)
		(億kWh)	%	(億kWh)	%	(億kWh)	%	風力	太陽光	地熱	バイオ 燃料	%	
ア	6,491	3,613	55.7	261	4.0	846	13.0	786	381	2	583	27.3	6,956
イ	2,891	2,658	91.9	164	5.7	66	2.3	3	0.04	—	0.2	0.1	3,153
ウ	908	688	75.8	81	8.9	—	—	10	11	111	7	15.3	799
エ	186	0.03	0.0	135	72.6	—	—	0.1	—	51	—	27.4	53,913

(「地理統計」2019年版より作成)

4 下の略地図を見て、あとの各問いに答えよ。



〔問1〕 次のア～エの文章は、略地図中のA～Dに位置する**いずれか**の城とその城が位置する都市やその周辺地域の様子についてまとめたものである。A～Dの城とその城が位置する都市やその周辺地域の様子のそれぞれに当てはまるのは、次のア～エのうちではどれか。

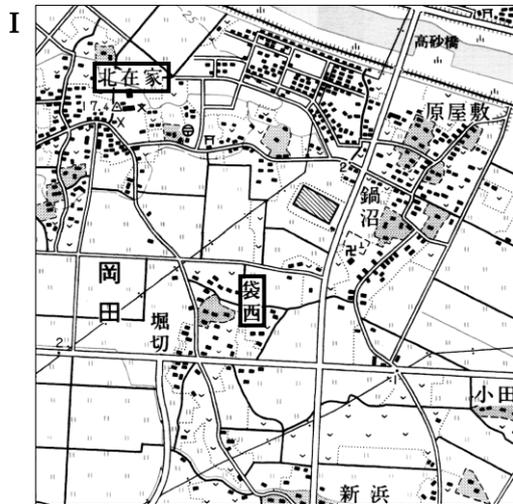
城とその城が位置する都市やその周辺地域の様子	
ア	<ul style="list-style-type: none"> ○1500年代初めに造られた深志城をはじめとする、盆地の中央部に位置する平城である。天守は国宝に指定されている。 ○この都市の南西部をはじめとした盆地斜面では、りんごやぶどうの生産がさかんである。また、この盆地の西縁は、活断層が集中し、本州の西側と東側の地形や地質を分ける線と一致する。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ○1591年、毛利輝元によって築かれた、この城が位置する都市を北東から南西に流れる河川の三角州に造られた平城である。 ○県庁所在地として、また地方中枢都市としての中心性を持つ、人口110万人を超える政令指定都市である。1945年8月、戦争によって壊滅的な被害を受けたこの都市は、平和記念都市を宣言して、世界に平和の尊さをアピールしている。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ○1602年、伊達家の居城として築城された、断崖や溪谷など周囲の地形を巧みに利用した山城である。城下町は、城の東を流れる河川の東側につくられた。 ○県庁所在地として、また地方中枢都市としての中心性を持つ、人口100万人を超える政令指定都市である。2011年3月に発生した地震では、特に津波による大きな被害を受けた。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ○1607年、加藤清正によって築城が開始された、丘陵部に造られた平山城である。西南戦争によって、天守を含めた多くが焼失した。 ○県庁所在地で、人口70万人を超える政令指定都市である。この都市の東側には、巨大なカルデラがあり、国立公園にもなっている。2016年4月に発生した地震により、大きな被害を受けた。

〔問2〕 次の表の**ア～エ**は、略地図中の**A～D**の**いずれか**の城が位置する県の2016年における産業別の就業人口の割合、製造品出荷額の総計と、製造品出荷額の上位3位の品目と製造品出荷額に占める割合を示したものである。略地図中**B**の城が位置する都道府県に当てはまるのは、次の表の**ア～エ**のうちのどれか。

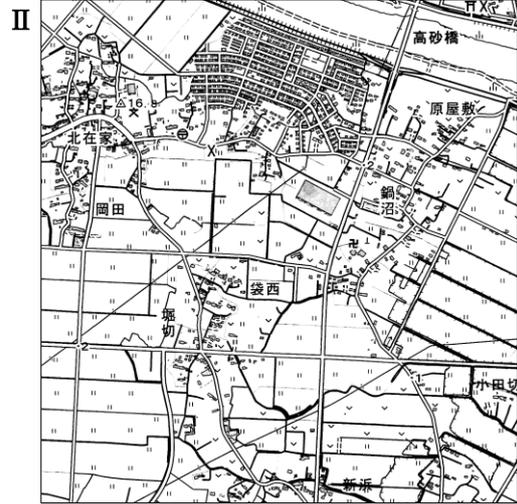
	産業別の就業人口の割合(%)			製造品 出荷額 (億円)	製造品出荷額の上位3位の品目と製造品 出荷額に占める割合(%) (左から1位, 2位, 3位)
	第1次	第2次	第3次		
ア	9.1	20.7	70.2	2,672	電子部品・デバイス・電子回路(15.8), 生産用機械器具(13.9), 食料品(13.2)
イ	8.5	28.8	62.7	5,832	情報通信機械器具(17.5), 電子部品・デバイス・電子回路(12.6), 食料品(9.9)
ウ	3.9	23.6	72.5	4,113	食料品(13.6), 電子部品・デバイス・電子回路(13.5), 石油製品・石炭製品(10.9)
エ	2.7	26.5	70.8	9,941	鉄鋼業(10.9), 生産用機械器具(7.8), 食料品(6.7)

(「データブック オブ・ザ・ワールド」2019年版より作成)

〔問3〕 次のⅠとⅡの地形図は、略地図中のA～Dの**いずれか**の城が位置する都市の東部の1998年と2018年の「国土地理院発行2万5千分の1地形図」の一部である。ⅠとⅡの地形図を比較して読み取ることができる地域の変容について**誤っている**のは、下の**ア～エ**のうちではどれか。



(1998年)



(2018年)

- ア 北在家の北東部にある住宅地は、2018年には建物が大幅に増えている。
- イ 北在家の南東側にあった神社が、2018年にはなくなっている。
- ウ 北在家にある三角点の標高は、1998年と比較して2018年のほうが低くなっている。
- エ 北在家にあった警察署は廃止され、2018年には郵便局の東側に建てられている。

【問題は次ページへ続きます】

5 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

国家にとって、財政の基盤となる税（年貢）の主な担い手である農民をいかに統治するかは、常に重要な課題であった。

古代、(1) 律令体制のもとで、農民には租庸調などの大きな負担が課されたが、やがてこの仕組みが崩れ、私有地が増えると、農民は各地の荘園や公領の領主に年貢を納めるようになった。

中世になると、農業技術が発展し、二毛作や牛馬耕なども行われた。(2) 農民の団結は強まり、室町時代には惣と呼ばれる自治組織も作られ、荘園領主や守護大名にも抵抗するようになった。

16世紀の終わり、(3) 天下統一を実現する豊臣秀吉は、農村に対し、全国で検地と刀狩を実施するなどし、近世社会の仕組みを築いていった。それを引き継ぐ江戸幕府では、さらに徹底した農民支配と農村統制が行われた。

(4) 明治政府が成立し、日本は近代国家として発展していくが、農民に課される負担は重く、不況の波にもさらされ、農民はしばしば苦境に立たされた。

〔問1〕(1) 律令体制のもとで、農民には租庸調などの大きな負担が課されたとあるが、次の歌は、当時の農民によって詠まれたものである。当時農民には様々な負担があったが、この歌で詠まれている情景ともっとも関係の深いものは、下のア～エのうちではどれか。

からころも すそにとりつき泣く子らを おきてぞ来ぬや おもなしにして
(『万葉集』)

ア 6歳以上の男女には口分田が支給され、「租」として稲の収穫の約3%を納めなければならなかった。

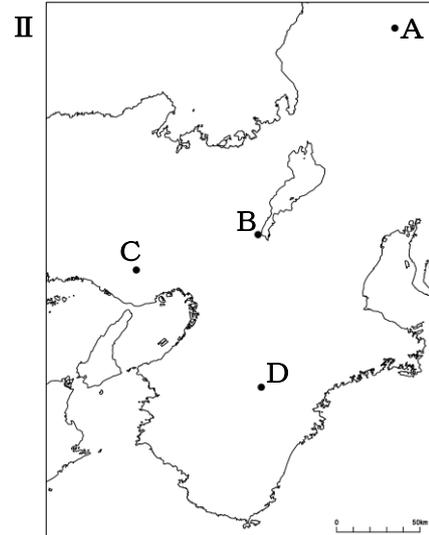
イ 成人男子には、「調」として特産物や「庸」として麻布を、都まで運ぶ労役も課された。

ウ 九州北部で3年間任務につく兵役が、成人男子3、4人にひとりに対し、課されていた。

エ 各国で池、堤などの土木工事が、年に60日以内、成人男子に課されていた。

〔問2〕(2)農民の団結は強まり、室町時代には惣と呼ばれる自治組織も作られ、荘園領主や守護大名にも抵抗するようになった。とあるが、農民を中心とした土民が土倉や酒屋をおそい、借金の帳消しをせまった正長の土一揆が起こったのは、Iの年表中のア～エの時期のうちではどれか。また、正長の土一揆が起こるきっかけとなった最初の武力蜂起が発生した場所は、IIの略地図中のA～Dのうちどれか。

I	西暦	おもな出来事
	1404	● <small>あしかがよしみつ</small> 足利義満が、勘合貿易を始める。……………
	1467	● <small>おうにん</small> 応仁の乱（～77）……………
	1488	● <small>かが</small> 加賀の一向一揆……………
	1543	●鉄砲の伝来……………
	1573	● <small>おだのぶなが</small> 織田信長、室町幕府を滅ぼす。……………



〔問3〕(3)天下統一を実現する豊臣秀吉は、農村に対し、全国で検地と刀狩を実施するなどし、近世社会の仕組みを築いていった。とあるが、この頃秀吉により出されたIやIIの資料によって築かれていく近世社会の仕組みとは、どのようなものであるか、説明せよ。

I

〈1588年〉

諸国の百姓が、刀、脇ざし、弓、やり、鉄砲そのほか武具などを持つことをかたく禁止する。その理由は、必要のない道具をたくわえて年貢などを出ししぶり、ついには一揆をくわだて、武士に対してよくないことをするからである。

(『小早川家文書』)

II

〈1591年〉

武士でおうしゅう奥州出兵(1590年)以後に新しく町人・百姓になった者があれば、その土地の者が調べ、いっさい、身分を変えて住まわせてはならない。もし隠れていたら、町や村も処罰を受けることになる。

村々の百姓たちが田畑を捨てて、商売や内職をする者があれば、その者だけでなく村中が処罰される。

(『小早川家文書』)

〔問4〕(4)明治政府が成立し、日本は近代国家として発展していくが、農民に課される負担は重く、不況の波にもさらされ、農民はしばしば苦境に立たされた。とあるが、下記の**ア**～**エ**は、明治時代以降の農民が関わった運動や反乱である。時期の古いものから順に、記号を並べよ。

- ア** デモクラシーの高まりを背景に、労働運動や農民運動がさかんになり、農村では、小作料の減免などを求める小作争議がしきりに起こった。
- イ** 自由民権運動が各地で展開する中、深刻な不況を背景に困窮した農民が、多数の民衆を加えて、高利貸しや郡役所を襲う秩父事件など、東日本を中心に各地で事件を起こした。
- ウ** 世界的な不況の影響で、農村ではまゆをはじめとする農作物の価格の暴落が起こり、さらに冷害による凶作もあり、生活に困窮する農民は、各地で小作争議を起こした。
- エ** 地租改正によって、高額の地租を負担させられた農民は、これに反発して、地租改正反対一揆を各地で起こした。

【問題は次ページへ続きます】

6 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

現代の日本は、少子高齢社会をむかえている。少子化は、(1)女性の社会進出にともなう晩婚・未婚が進んだため、1人の女性が生む子どもの数が減少したことによる。また、仕事と家庭の両立の問題や経済的な理由から、子どもを生まない、または理想の人数だけ生まない夫婦も多くなっている。その一方で平均寿命がのび、人口全体に占める高齢者の割合が増加し続けてきた。さらに、2005年からは出生数が死亡数を下回り、(2)人口の減少も始まっている。

少子高齢社会が進行する今日、(3)子どもを生み育ててやすい環境を整え、高齢者が安心して暮らしていけるようなサービスを整備するなど、社会保障の充実が欠かせない。一方で、(4)増え続ける高齢者の生活を支える社会保障費を、少なくなる一方の現役世代が支えることができるのか、という問題が存在する。現役世代の負担の増加への対応と社会保障の充実をどう両立させていくかが、大きな課題となっている。

〔問1〕(1)女性の社会進出にともなう晩婚・未婚が進んだため、1人の女性が生む子どもの数が減少したとあるが、次のIのA～Eは、女性の権利や社会的進出に関する出来事を示したものである。IIの法律が制定されたのは、下のア～エのうちではどれか。

- I
- A 1946年 戦後初の衆議院議員選挙で、女性議員が39名誕生する
 - B 1965年 女子の大学・短期大学への進学率が10%を超える
 - C 1979年 国連で「女子差別撤廃条約」が採択される
 - D 1991年 「育児休業法」が制定される
 - E 1999年 「男女共同参画社会基本法」が制定される

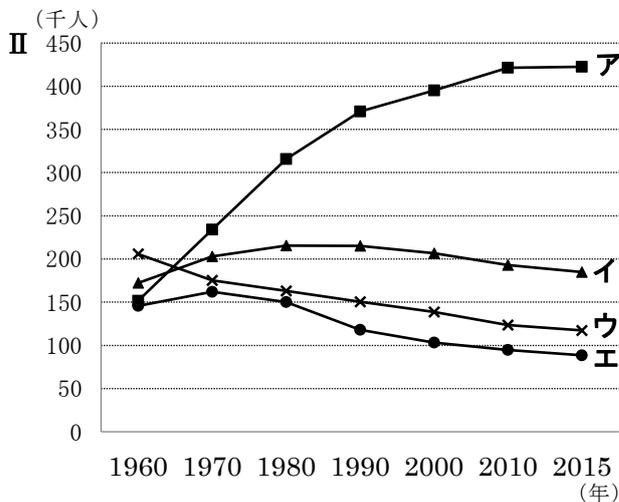
II この法律は、募集、採用、昇進など雇用における女性差別を禁止することを定めた。

ア AとBの間 イ CとDの間 ウ BとCの間 エ DとEの間

〔問2〕(2)人口の減少も始まっているとあるが、次のIの表のA～Dの文章は、日本の特色ある4つの工業都市の産業のようすと、人口の推移について述べたものである。IIのグラフのA～Eは、A～Dのいずれかの都市の人口の推移を表している。また、IIIの略地図中のa～dは、A～Dのいずれかの工業都市の位置を示している。Iの表のDの文章に当てはまる都市の人口の推移を表しているものを、IIのグラフ中のA～Eのうちではどれか。また、Dの文章にあてはまる都市は、略地図中a～dのうちではどれか。

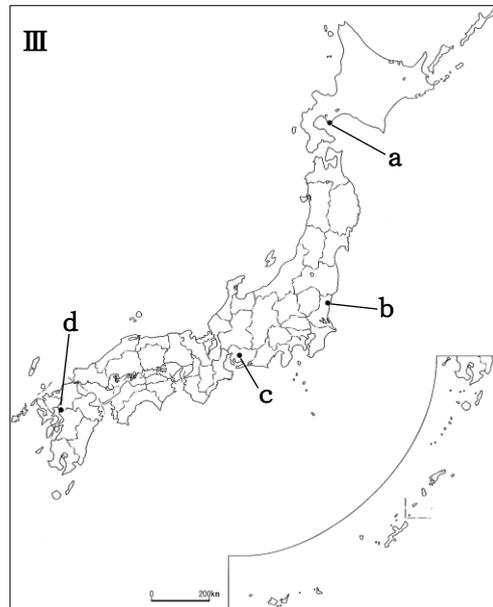
I

産業のようすと人口の推移	
A	三池炭鉱を中心とする石炭産業とともに発展した、有明海に面した鉱工業都市である。化学肥料、薬品、亜鉛精錬、電気化学など石炭を原燃料とする化学工業を結びつけ、コンビナートが形成された。しかし1960年代からのエネルギー革命による石炭産業の衰退とともに、人口減少が始まった。
B	1930年代に繊維機械の会社が自動車生産を始め、1960年代には自動車工業が本格的に発展した。今では、日本最大の自動車会社の本社や組み立て工場、下請けの部品工場が集まる「自動車の町」として有名である。この市の人口は、自動車工業の発展とともに増加し続けている。
C	石狩炭田の石炭を利用して、明治時代から製鉄所が進出した。鉄を原料として使う金属工業や機械工業も発達し、一大臨海工業地帯となった。しかし、1970年代に入ると、炭鉱の閉山や石油危機による鉄鋼業の不振から人口の減少が始まり、製鉄所の高炉が閉鎖された1980年代からは、人口減少もさらに加速している。
D	明治時代から銅鉱山を中心に、鉱業都市としての発展が始まった。戦後は電気機械工業を中心に日本を代表する工業都市の一つとなり、高度経済成長期には特に人口が増加した。1970年代の2度の石油危機も技術革新などの努力で乗り越えたが、1980年代後半から始まった人口減少が続いている。



(注) 各市とも、現在の市域に組み替えた人口を示している。

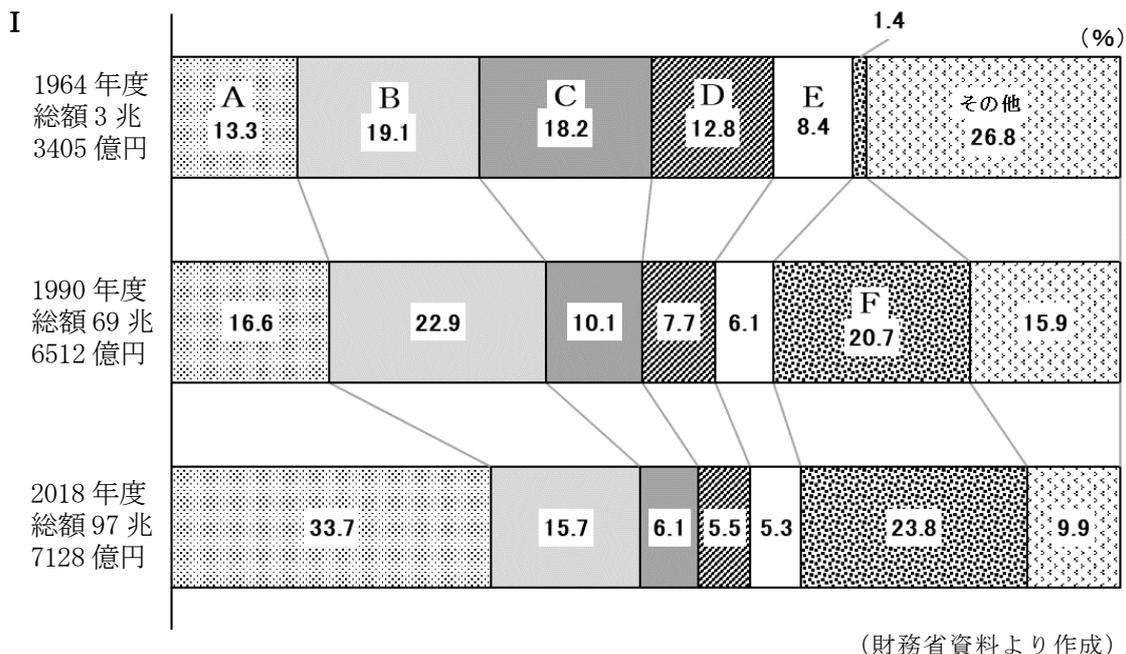
(「国勢調査」より作成)



〔問3〕(3) 子どもを生き育てやすい環境を整え、高齢者が安心して暮らしていけるようなサービスを整備するなど、社会保障の充実が欠かせない。とあるが、社会保障制度は生存権を保障するために整えられている。生存権を保障する日本国憲法の条文は、次のア～エのうちではどれか。

- ア すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負う。
- イ 何人も、法律の定める手続きによらなければ、その生命もしくは自由を奪われ、又はその他の刑罰を科せられない。
- ウ すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- エ すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分または門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

〔問4〕(4) 増え続ける高齢者の生活を支える社会保障費を、少なくなる一方の現役世代が支えることができるのかとあるが、IのグラフのA～Fは、国の予算のうち一般会計の歳出に占める社会保障関係費、文教及び科学振興費、公共事業関係費、防衛関係費、国債費、地方交付税交付金の割合の変化を示したものである。IIの文章で述べている経費にあてはまるものは、IのA～Fのうちのどれか。



II 国が歳入の不足分を補うために、個人や企業から借り入れた借金の返済にあてる費用。第一次石油危機後の不況により税収が減少したため、国の借金が増え始めた。また、1990年代後半からの不況によってさらに借金が急増したため、その返済費もふくらみ続けている。